

【 学校教育目標 】

学校教育目標

「学び合って みんなと生きる未来を創造しよう」
問いをもつ 友と粘り強く追究し、表現する 感謝する

これからの子ども達が生きていく新たなスマート世界ソサイアティー5.0を念頭に「共生・協働による創造」を意識し、学習指導要領で述べられた資質・能力の育成を目指して、令和元年度に学校教育目標を「**学び合って みんなと生きる未来を創造しよう**」と定めた。

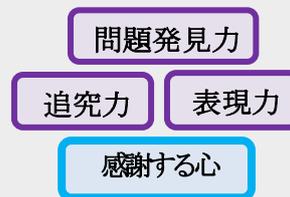
更に一般的な知・徳・体から、カリキュラム・マネジメント（児童・学校・地域の実態の把握、教育内容の教科等横断的な組み立て、教育課程の改善、実施に必要な人的・物的な確保を図り、学校教育活動の質的向上を図ること）の視点に立ち、その具体の姿として「問いをもつ」「友と粘り強く追究し、表現する」「感謝する」の3つをキーワードとして位置付けた。これらの姿の実現に取り組むことにより、子ども達が自らの学びを調節し、真の学習者となる“自ら学ぶ子ども”へと繋がっていくと考える。

【 願う子どもの姿 】

「問いをもつ」「友と粘り強く追究し、表現する」「感謝する」の具体の姿と「育てたい力」を以下の様に考える。

願う子どもの姿 と 育てたい力

- ① 事象や対象に自分なりの疑問や課題意識をもつ姿
- ② 友だちと理由や根拠をもとに説明し合い、粘り強く追究し、考えをまとめ、表現していく姿
- ③ 相手を敬ったり感謝したりして心を通わせる姿



- ① 事象や対象に対して自分なりの疑問や課題意識をもつ姿 【問題発見力】
物事や身の回りの事象に「これってどういうこと?」「どうなってるの?」という“疑問”や「こうしたらどうなるのかな?」「こうやればいいのか」という“課題意識（追究したいことがら）”をもち、追究していく姿を願い、問題発見力を育みたい。

*問い：“疑問”や“課題意識（追究したいことがら）”のことと定義する。

- ② 友だちと理由や根拠をもとに説明し合い、粘り強く追究し、考えをまとめ、表現していく姿 【追究力・表現力】

問いから導き出された「学習課題」や見方・考え方を働かせて設定した「学習課題」を追究するなかで、友だちと考えた理由や根拠を出し合って説明し合い、粘り強く考えて追究し、自分の考えをまとめ、それを表現していく姿を願い、追究力・表現力を育みたい。

- ③ 相手を敬ったり感謝したりして心を通わせる姿 【感謝する心】
一緒に生活し、活動したり学んだりするなかで、かかわる人たちに対して“あいさつ”などを含めて敬意や礼儀をもって接したり、協力して働くことの良さや相手へ「ありがとう」の感謝を感じたりして心を通わせる姿を願い、感謝する心を育みたい。